



友 愛

全国学力・学習状況調査報告編

鴨池小学校
学校だより
平成30年11月発行

平成30年4月に行われました「平成30年度全国学力・学習状況調査(対象6年)」の結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

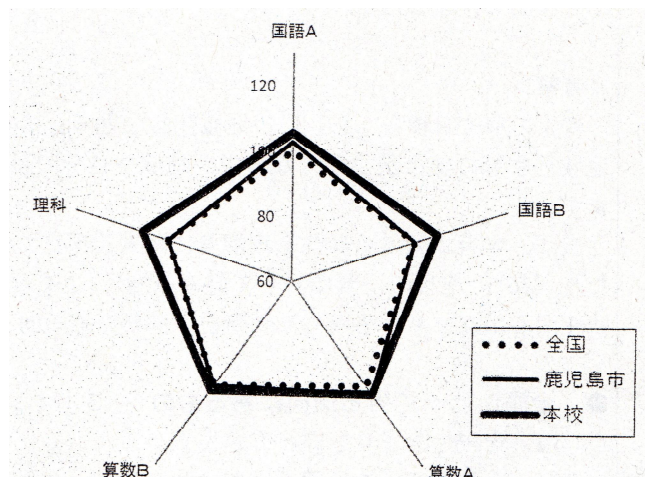
この調査は、5年生までの学習内容をもとに、定着度の把握や指導法改善をねらいにしています。「A」の調査は主に「知識」を、「B」の調査は主に知識をもとにした「活用」を、児童質問紙は、子どもたちの生活や学習の様子、考え方について調査しています。これらの結果をもとに、今後さらに全学年の子どもたちの学力向上のために学校と家庭が一体となった取組を推進していきたいと思っておりますので、御理解・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

＜教科に関する結果概要＞

本校の調査結果を平均正答率で表すと、右のレーダーチャートのとおりです。

国語Aと国語B、算数Aと算数B、理科、全てにおいて全国や市の平均を上回り、大変良好な結果でした。これまでの子供たちががんばりのたまものだと思います。

全国の平均正答率を100としたときの数値



＜国語A＞

ほとんどの問題で、市や全国平均を上回りました。「文の中における主語と述語との関係などに注意して文を正しく書く」の正答率が大変低いものでした。再指導もちろん、文章表現をする上で筋道を立てて、主述を意識させた表現の機会を学習活動や家庭生活の中でつくっていくことが必要であると思われま

＜国語B＞

ほとんどの問題で、市や全国平均を上回りました。知識をもとにした活用力が育成されている結果だと思います。

正答率の低かった問題を取り上げるとすると、「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く」の正答率が低かったです。今後、各自考えたことを、順序立てて相手を意識して伝えていく状況を意識させながら表現する機会を設定する指導が必要であると思

＜算数A＞

多くの問題で、市や全国平均を上回りました。小数の除法の意味について理解する問題や、円周率の意味について理解する問題について正答率が低くなっていました。計算の処理能力を高めるよう、基礎的な力をつけていくよう再指導します。

＜算数B＞

全国平均と同じかやや上回りました。知識をもとにした活用力が育成されうれしく思います。正答率の低かった問題を取り上げるとすると、「メモの情報とグラフを関連づけ、総数や変化に着目していることを解釈し、記述する」「グラフから読み取ることができることを正しく判断する」の正答率が低かったです。数量関係を具体的に捉えられるように繰り返し指導を行います。

<理科>

多くの問題で、市や全国平均を上回りました。「一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く」の正答率が低かったです。実験結果を基に分析し、自分の考えを記述できる力をつけていくよう再指導します。



<質問紙>

◎ 全国に比べてよい傾向にあるもの(+10ポイント以上)

- (3) 将来の夢や目標を持っていますか。
- (23) 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。
- (36) 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。
- (38) 理科の勉強は好きですか。
- (40) 理科の授業の内容はよく分かりますか。
- (49) 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのかを考えていますか。
- (52) 5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか。
- (53) 5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことが出てきましたか。

<考察>

将来の夢や目標をもち(3)、地域社会などでも積極的にボランティア活動へ参加(23)をしています。地域行事等の機会が少なくなる中、地域や自分の将来を意識した関わりの下支えが育まれていると考えます。

次に、学習に対する興味や理解度に関する項目では、解き方や考え方が分かるようにノートにまとめたり(36)、理科の授業に対して好み(38)、よく理解をしています。(40)科学的な分野に対するの興味や関心が高まり、思考力や判断力、洞察力等の向上につながってきていると考えます。

● 全国に比べて劣る傾向にあるもの(-5ポイント以下)

- (4) 学校のきまりを守っていますか。
- (20) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- (28) 算数の勉強は大切だと思いますか。

<考察>

地域における運営上の課題等により、地域行事も大きく変化してきている状況も考えられます。

<総括>

全体的にとってもポイントが高い結果となりました。今後も子どもたちのよさをさらに伸ばしていけるよう学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思ひます。